

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 29 年 1 月

1. 対象事業	福山市新浜処理区合流式下水道緊急改善計画			
2. 実施主体名称	広島県 福山市			
3. 計画期間	平成 21 年度～平成 25 年度			
4. 対象事業の進捗状況	福山市合流式下水道緊急改善計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減 : 分流式下水道並み ②公衆衛生上の安全確保 : 未処理放流回数の半減 ①、②の対策として中央雨水滞水池、高速ろ過施設を整備 ③きょう雑物の削減 : きょう雑物流出を極力防止 スクリーンを設置済み (既設)			
5. 目標の達成状況と達成の見通し	改善目標			
改善項目	改善目標			
①汚濁負荷量の削減	分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下とする。			
②公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる。			
③きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する。			
目標に対する達成状況				
改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価
①汚濁負荷量の削減	放流負荷量	412.7 t/年	220.2 t/年	219.9 t/年
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	64 回/年	32 回/年以下	32 回/年
③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所
<u>緊急改善計画を基に事業を実施し、改善目標を達成している。</u>				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	①汚濁負荷量の削減 目標値を上回る負荷量を削減した。(目標 220.2 t/年 → 現状 219.9 t/年) ②公衆衛生上の安全確保 対象吐口の年間未処理放流回数が対策前から半減している。 ③きょう雑物の削減 全ての吐口 (1 箇所) でスクリーンを設置しており、きょう雑物の流出を極力防止している。 総降雨量 10 mm 以上 30 mm 以下の降雨時における合流式下水道からの放流水の BOD 平均水質が 40 mg/L 以下であることを確認した。			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	①簡易処理の高度化は、スピリット 21 で開発された最新技術 (高速ろ過施設) を採用した。 ②ソフト対策として福山市上下水道局 HP 等で市民への協力をお願いした。			
8. 今後の方針	①汚濁負荷量の削減 ・合流改善目標の遵守を継続するため、対策施設である高速ろ過施設の除去率の確認や中央雨水滞水池のドライ化 また、合流管渠の清掃など適切な維持管理に取り組む。 ②公衆衛生上の安全確保 ・①についての対応方針と共通することから、同様の対応により、未処理放流回数の更なる減少に努める。 ③きょう雑物の削減 ・スクリーンの適切な維持管理を行い、きょう雑物の流出防止に努める。 ④ソフト対策 ・今後も引き続き広報活動を行っていく。			